

各論点に対する資料の構成

貢献量を評価する目的	資料1	1.
「貢献」の定義	資料1	2. (1)
ベースラインの設定方法	資料1	2. (2)
算定対象活動の範囲	資料2	(1)
時間軸の設定	資料2	(2)
算定対象とする発生場所	資料2	(3)
貢献量算定対象とする製品	資料2	(4)
部品・素材製造の貢献量評価	資料2	(5)

資料 1～資料 2 に記載する各論点につきましては、それぞれの論点ごとに下記の構成で記載しております。

(論点ごとの構成)

<委員会指摘事項>：平成 23 年 9 月 29 日(木)に開催いたしました「第 1 回滋賀県製品等を通じた貢献量評価手法検討会」におきまして、委員の皆さまより頂いた意見のうち、各論点に関連するものを抽出・整理いたしました。

<考えられる選択肢例>：選択肢例：ご議論の参考として、各論点で考えられる主な選択肢について、他事例の調査結果等も踏まえ事務局で整理いたしました。(記載以外の選択肢を排除する意図ではございません。)

<県内企業の算定方法・意見>：各論点について、各社で現在実施されている取組実態や、本制度における各委員の皆さまの考え方をお送りいただきました結果を記載しております。

<検討の方向性（事務局案）>：各社の取組実態や、本制度におけるご意見等をふまえた、本制度における検討の方向性について、事務局案を記載しております。